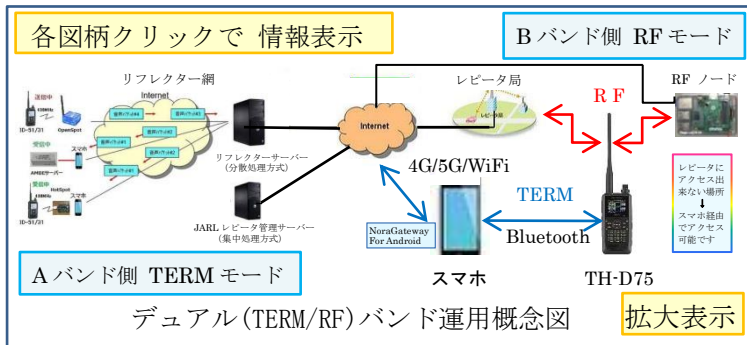


**** TH-D75 で NoraGateway For Android (Bluetooth 接続) を設定する ****

「スマホが OK ならば、何処でも交信可能」
目次

1. NoraGateway について
2. アンドロイドスマホの設定をする
3. TH-D75 の設定をする
4. Bluetooth 接続の設定をする
5. リフレクターに接続する
6. レピータに接続する ([D-STAR 登録必要](#))



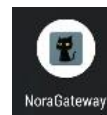
1. NoraGateway について

NoraGateway は、DSTAR 仕様書からレピータシステムを再解釈してノード局用にスケールダウンしたものであり、アイコム社製の純正ターミナルモード・アクセスポイントモード用ソフトウェアである RS-MS3 の機能に加えて、DSTAR (DV) リフレクターへのアクセスを機能付加したものです。詳細は、[Nora Series wiki](#) をご覧ください。

2. アンドロイドスマホの設定をする

① ダウンロードとインストール (Google Pixel 7a は、インストール不可)

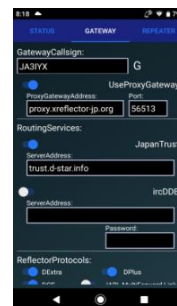
圏央道友会の下記アドレスから、アンドロイドスマホにダウンロードしインストールする。下記アドレスを、自分宛てのメールでスマホに送れば簡単にダウンロードできます。
https://k-dk.net/nora-release/alpha/NoraGatewayForAndroid_v0.0.1a-PR44.apk



② 設定 (画像クリックで拡大表示)

A. GATEWAY 画面での設定

GatewayCallsign: JA3IYX ← 自局コールサインを入力する。
UseProxyGateway: 右側 (ON) にする。
ProxyGatewayAddress: proxy.xreflector-jp.org を入力する。
Port: 56513
RoutingServices: 右側 (ON) にする。JapanTrust
ServerAddress: trust.d-star.info
ReflectorProtocols: Dextra Dplus DCS を右側 (ON) にする。



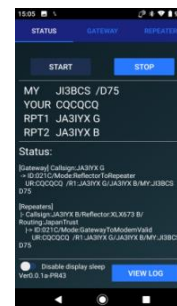
GATEWAY 画面

B. REPEATER 画面での設定

RepeaterModule: B を選択する。
Enable: 右側 (ON) にする。
Type: Internal
ModemType: MMDVMBluetooth を選択する。
DirectMyCallsigns: JA3IYX を入力する。
Device: TH-D75 を選択する。
AllowDVSimplexMode: 右側 (ON) にする。
右上の SAVE ボタンを押す。



REPEATER 画面



STATUS 画面

【注】 使用開始・終了は、STATUS 画面で操作します。(バックグラウンドで動作可能です。)
開始する場合は、TH-D75 を [ターミナルモード Bluetooth 接続](#) にして START ボタンを押すと、TH-D75 から「NoraGateway 起動しました」のアナウンスが聞こえて使用可能状態になります。終了する場合は、必ず先に STOP ボタンを押してから TH-D75 の電源を切ってください。順序を間違えると、次の使用開始時にバッファにある音声 TH-D75 から聞こえます。

3. TH-D75 の設定をする (画像クリックで拡大表示) [取扱説明書 \(詳細編\)](#) [主要項目設定メモ](#)

リフレクターターミナルモードは A バンド側でのみ設定可能です。(144⇄430 のみが A 側)

- ① [MENU→985] PC 入出力 : DV Gateway を Bluetooth にする。
- ② [MENU→930] Bluetooth : Bluetooth を ON にする。
- ③ [MENU→936] 自動接続 : 自動接続を OFF にする。
- ④ [MENU] を押して周波数表示に戻ると、
「Bluetooth アイコン」が灰色で表示されていることを確認する。
- ⑤ [MENU→650] DV モード : リフレクターターミナルモードにする。
- ⑥ [MENU→651] 自局コールサイン : JA3IYX /NRAR を入力する。
- ⑦ [MENU] を押して右上部に「TERM」が表示されていることを確認する。



上④ 下⑦ 画面

【注】 A バンド側をターミナルモードで使用中でも、B バンド側は通常の DV/DR・FM モードでの送受信が独立して使用可能です。AM/FM ラジオ・AM・CW・SSB 等の受信も可能です。

「A/B」で A バンド/B バンド、「F」「A/B」でデュアルバンド/シングルバンドの切替が出来ます。シングルバンドでリフレクターターミナルモード使用時のバンド切替は出来ません。

ターミナルモードでは、ゲート越え局に対する[ダイレクトリプライ機能](#)は使用出来ません。

【参考】 A バンド側を通常モードに変更する場合の切替えは [MENU→650] で Off に、パソコンに USB 接続する場合の切替えは [MENU→985] で USB に変更するだけで OK です。

4. Bluetooth 接続の設定をする

下記の FAQ を参照してください。【TH-D75 と Android デバイスとの Bluetooth ペアリング】の項目 <https://faq2.jvckenwood.com/kenwood/web/faq/Detail.aspx?id=107126>

5. リフレクターに接続する (動作確認手順)

- ① [▲] を長く押して、相手先選択画面で Reflector を選び [ENT] を押し Link to Reflector を選び [ENT] を押す。
- ② XLX673B に接続する場合、Input [A/B] を押して XLX673BL と設定後に [ENT] を押し PTT を押す。
受信に戻ると「XLX673B に接続しました」のアナウンスが聞こえる。
[▲] を長く押して、Reflector を選び [ENT] を押し Use Reflector を選び [ENT] を押す。
- ③ PTT を押して交信出来ます。

6. レピータに接続する (動作確認手順)

- ① [▲] を長く押して、相手先選択画面で直接入力 (URCALL) を選び [ENT] を押す。
- ② A. ゲートウェイ CQ で京都伏見 430 に接続する場合、/JP3YJEA と入力後に [ENT] を押す。
B. コールサイン指定で試験用の自動応答に接続する場合、JL3ZIN F と入力後に [ENT] を押す。
C. 山掛けで京都伏見 430 に接続する場合、JP3YJEAL と入力後に [ENT] を押し PTT を押す。
受信に戻ると「JP3YJEA に接続しました」のアナウンスが聞こえる。
[▲] を長く押して、Reflector を選び [ENT] を押し Use Reflector を選び [ENT] を押す。
- ③ PTT を押して交信出来ます。

交信方法の詳細は、3P の「TH-D75 で NoraGateway For Android (Bluetooth 接続) を使用する」と、6P の「TH-D75/74 で NoraGateway RF ノードを使用する」を参照してください。

【謝辞】

NoraGateway は、圏央道友会で開発されたフリーソフトウェアです。
この様な素晴らしいソフトを作成し、公開されたことに感謝いたします。

にゃー



**** TH-D75 で NoraGateway For Android (Bluetooth 接続) を使用する ****

目次

1. 無線機とスマホの準備をする
2. リフレクターに接続する
3. レピータにローカル CQ (山掛け) で接続する
4. レピータにゲートウェイ CQ で接続する
5. レピータにコールサイン指定で接続する
6. 使用を終了する



TH-D75 TERM 画面

1. 無線機とスマホの準備をする

① 無線機の操作

[MENU→650] DV モード：リフレクターターミナルモードにする。

② スマホの操作

NoraGateway For Android を起動し START ボタンを押し、TH-D75 から「NoraGateway 起動しました」のアナウンスが聞こえる事を確認する。

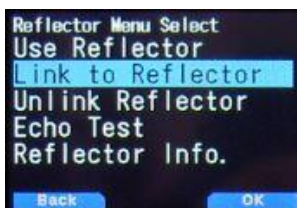
2. リフレクターに接続する

① ターミナルモードに設定します。(1. ①無線機の操作で設定済み)



- ② T0 に Reflector メニューから Link to Reflector を選択し、INPUT を押し上下キーで REF, XLX を選び、次に接続したいリフレクター番号+モジュール を上下キーで選択入力します。又は、直接入力(URCALL)メニューから接続するリフレクターの番号+モジュール+L を入力します。コールサイン指定メニューからの選択も可能です。

(例) REF071BL XLX673BL XLX673DL XLX988HL 等



- ③ PTT を押して送信し、受信に戻ると「***** に接続しました」のアナウンスが聞こえる。

- ④ T0 に Reflector メニューから Use Reflector (CQCQCQ) を選択します。

- ⑤ PTT を押して交信可能です。

- ⑥ 交信終了後に Reflector メニューから Unlink Reflector を選択します。

- ⑦ PTT を押して接続を解除します。

【注】 現在接続しているリフレクター番号+モジュールを確認したい場合は、T0 に Reflector メニューから Reflector Info. を選択し PTT を押して送信し、受信に戻ると「***** へ接続されています」のアナウンスが聞こえ確認できます。その接続先で交信する場合は、④の操作に戻ってください。

【参考】コールサインリストを活用すると簡単に T0 を設定出来ます。[設定例](#) です。

コールサインの代わりにコマンドを追加します。

- (例) リフレクターの XLX673 の B モジュールに接続する場合は、XLX673BL を入力します。
レピータの京都伏見 430 にローカル CQ (山掛け) で接続する場合は、JP3YJEAL を、
京都比叡山 430 にゲートウェイ CQ で接続する場合は、/JP3YCSA を入力します。
相手先選択画面でコールサイン指定を選択して、登録したコマンドを T0 に設定します。

3. レピータにローカルCQ(山掛け)で接続する

** 接続したレピーターの音声聞こえ、送信して交信もできます **

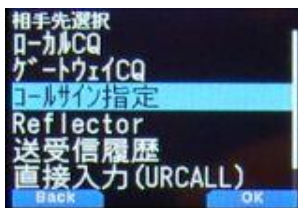
- ① ターミナルモードに設定します。(1. ①無線機の操作で設定済み)



- ② T0 にコールサイン指定メニュー又は、直接入力(URCALL)メニューから接続する D-STAR レピータのコールサイン+A(430) or B(1200)+ L を入力します。

(例) JP1YCDAL JP3YJEAL JP6YIDAL 等現在接続可能なレピーターは、下記で確認できます。

http://xrf673.xreflector-jp.org/info/nec_list.pdf



- ③ PTT を押して送信し、受信に戻ると「***** に接続しました」のアナウンスが聞こえる。
④ T0 に Reflector メニューから Use Reflector (CQCQCQ) を選択します。
⑤ PTT を押して交信可能です。
⑥ 交信終了後に Reflector メニューから Unlink Reflector を選択します。
⑦ PTT を押して接続を解除します。

【注】接続したレピーターに対してゲート超えてきた局に応答したい場合、表示部 (グリーン色表示時) に相手局が表示されている間に PTT を押して[ダイレクトリプライ機能](#)で応答可能です。

現在は、DV/DR モードのみ可能でターミナルモードでは使用出来ません。

[ENT] ボタン長押しを受信履歴からコールサインを取り込んで T0 に設定して応答出来ます。その際、相手局に対して T0 に自局をコールサイン指定するようにアナウンスして下さい。これによって、自局が使用中のレピータとの接続を解除してダイレクトに交信出来ます。

4. レピータにゲートウェイCQで接続する

** 接続したレピータの音声は聞こえません ICOM のターミナルモードと同じです **

- ① ターミナルモードに設定します。(1. ①無線機の操作で設定済み)

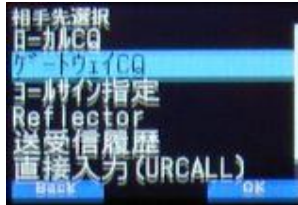


- ② T0 にゲートウェイ CQ メニューから接続する D-STAR レピーターを選択する。

又は直接入力 (URCALL) メニューから、/+レピーターのコールサイン+A (430) or B (1200) を入力します。コールサイン指定メニューからの選択も可能です。

現在は、直接入力のみ可能でゲートウェイ CQ メニュー及びコールサイン指定メニューによる選択はターミナルモードでは使用出来ません。

(例) アジア 日本 近畿 京都伏見 430 /JP3YJEA ←直接入力の場合



- ③ PTT を押して交信可能です。

【注】 CQ を出す際には、相手局に対してゲートウェイ CQ であり、T0 に自局をコールサイン指定するようにアナウンスして下さい。

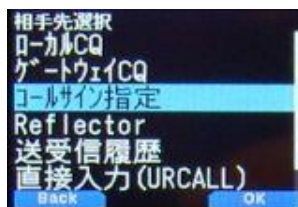
5. レピーターにコールサイン指定で接続する

- ① ターミナルモードに設定します。(1. ①無線機の操作で設定済み)



- ② T0 にコールサイン指定メニュー又は、直接入力 (URCALL) メニューから相手局のコールサインを入力します。

(例) JR1LKL JK3ZNB F JL3ZIN E JL3ZIN F 等 【注】 JL3ZIN E は、エコーバックです。



- ③ PTT を押して交信可能です。

【注】 他局からコールサイン指定で呼び出しを受けた場合は、表示部 (グリーン色表示時) に相手局が表示されている間に PTT を押して [ダイレクトリプライ機能](#) で応答可能です。

現在は、DV/DR モードのみ可能でターミナルモードでは使用出来ません。

[ENT] ボタン長押し of 受信履歴からコールサインを取り込んで T0 に設定して応答出来ます。

6. 使用を終了する

- ① スマホの操作

NoraGateway For Android の STOP ボタンを押し、アプリを終了する。

- ② 無線機の操作

[MENU→650] DV モード : off (通常モード) にする。

【謝辞】

NoraGateway は、圏央道友会で開発されたフリーソフトウェアです。

この様な素晴らしいソフトを作成し、公開されたことに感謝いたします。

にゃー



***** TH-D75/74 で NoraGateway RF ノードを 使用する *****

目次

1. 無線機の設定をする
2. リフレクターに接続する
3. レピータにローカル CQ (山掛け) で接続する
4. レピータにゲートウェイ CQ で接続する
5. レピータにコールサイン指定で接続する



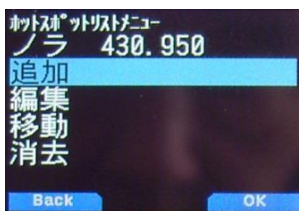
TH-D75 DUAL 画面



TH-D74 画面

1. 無線機の設定をする

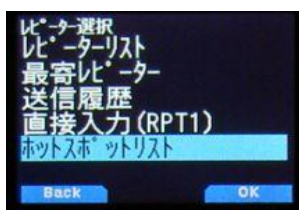
- ① DR モードで使用する準備 【参考】[設定例](#) です。設定には [MCP-D75/74](#) の使用が便利です。
「ノラ」をホットスポットリストに追加します。【注】D74 はレピーターリストに追加
- ② 設定方法 (詳細は、取扱説明書 (詳細編) 16-16「ホットスポットリストを追加する」参照)
[MENU→230] ホットスポットリスト (例) JL3ZIN X 430.950 を設定する場合
追加で「ネーム」「サブネーム」に 適当な名前を、「コールサイン(RPT1)」にノラの設定
ファイル(config/NoraGateway.xml)に設定した②レピータコールサイン JL3ZIN X を、「ゲ
ートウェイ(RPT2)」に同じく①ゲートウェイコールサイン JL3ZIN G を、「周波数」に 43
0.950.00 を、「シフト」に Off を、「オフセット」に 0.000.00 を入力し登録して下さい。
【注】DV モード (openSPOT 等に使用) での登録は、RPT2 を空白にして可能です。



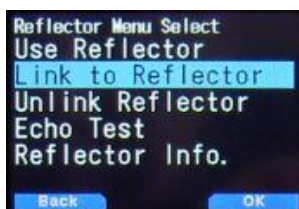
430MHz帯		周波数:MHz												
		430.00	430.10	430.50	430.70	431.00	431.40	431.90	432.10	434.00	435.00	438.00	439.00	440.00
CW	狭帯域データ CW, 狭帯域の 電話・電信・画像	VoIP	広帯域 データ	広帯域の電話・ 電信・画像	EME	広帯域の電話・ 電信・画像	レピータ	衛星	全電波型式 (実験・ 研究用)	レピータ				

2. リフレクターに接続する

- ① FROM にホットスポットリストから「ノラ」を選択します。【注】D74 はレピーターリスト



- ② TO に Reflector メニューから Link to Reflector を選択し、INPUT を押し上下キーで
REF, XLX を選び、次に接続したいリフレクター番号+モジュール を上下キーで選択入力
します。又は、直接入力(URCALL)メニューから接続するリフレクターの番号+モジュール
+Lを入力します。コールサイン指定メニューからの選択も可能です。
(例) REF071BL XLX673BL XLX673DL XLX988HL 等



- ③ PTT を押して送信し、受信に戻ると「***** に接続しました」のアナウンスが聞こえる。
- ④ T0 に Reflector メニューから Use Reflector (CQCQCQ) を選択します。
- ⑤ PTT を押して交信可能です。
- ⑥ 交信終了後に Reflector メニューから Unlink Reflector を選択します。
- ⑦ PTT を押して接続を解除します。

【注】 現在接続しているリフレクター番号+モジュールを確認したい場合は、T0 に Reflector メニューから Reflector Info. を選択し PTT を押して送信し、受信に戻ると「***** へ接続されています」のアナウンスが聞こえ確認できます。その接続先で交信する場合は、④の操作に戻ってください。

【参考】 コールサインリストを活用すると簡単に T0 を設定出来ます。 [設定例](#) です。

コールサインの代わりにコマンドを追加します。

(例) リフレクターの XLX673 の B モジュールに接続する場合は、XLX673BL を入力します。

レピータの京都伏見 430 にローカル CQ (山掛け) で接続する場合は、JP3YJEAR を、

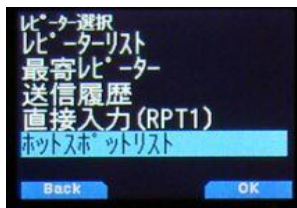
京都比叡山 430 にゲートウェイ CQ で接続する場合は、/JP3YCSA を入力します。

相手先選択画面でコールサイン指定を選択して、登録したコマンドを T0 に設定します。

3. レピータにローカル CQ(山掛け)で接続する

** 接続したレピータの音声聞こえ、送信して交信もできます **

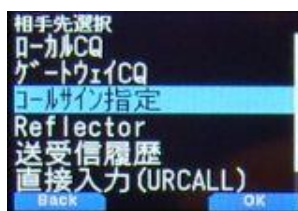
- ① FROM にホットスポットリストから「ノラ」を選択します。【注】 D74 はレピーターリスト



- ② T0 にコールサイン指定メニュー又は、直接入力 (URCALL) メニューから接続する D-STAR レピーターのコールサイン+A(430) or B(1200)+ L を入力します。

(例) JP1YCDAL JP3YJEAR JP6YIDAL 等現在接続可能なレピーターは、下記で確認できます。

http://xrf673.xreflector-jp.org/info/nec_list.pdf



- ③ PTT を押して送信し、受信に戻ると「***** に接続しました」のアナウンスが聞こえる。
- ④ T0 に Reflector メニューから Use Reflector (CQCQCQ) を選択します。
- ⑤ PTT を押して交信可能です。
- ⑥ 交信終了後に Reflector メニューから Unlink Reflector を選択します。
- ⑦ PTT を押して接続を解除します。

【注】 接続したレピーターに対してゲートを超えてきた局に回答したい場合、表示部 (グリーン色表示時) に相手局が表示されている間に PTT を押して [ダイレクトリプライ機能](#) で回答可能です。

[ENT] ボタン長押しを受信履歴からコールサインを取り込んで T0 に設定しても応答出来ます。

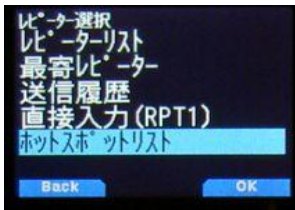
その際、相手局に対して T0 に自局をコールサイン指定するようにアナウンスして下さい。

これによって、自局が使用中のレピータとの接続を解除してダイレクトに交信出来ます。

4. レピータにゲートウェイCQで接続する

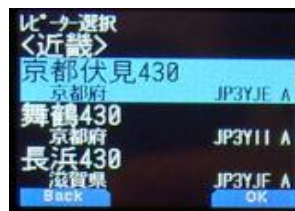
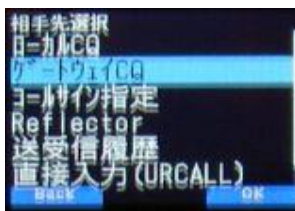
※接続したレピータの音声は聞こえません ICOM のターミナルモードと同じです※

- ① FROM にホットスポットリストから「ノラ」を選択する。【注】 D74 はレピーターリスト



- ② T0 にゲートウェイCQメニューから接続する D-STAR レピーターを選択する。又は直接入力 (URCALL) メニューから、/+レピーターのコールサイン+A (430) or B (1200) を入力します。コールサイン指定メニューからの選択も可能です。

(例) アジア 日本 近畿 京都伏見 430 /JP3YJEA ←直接入力の場合

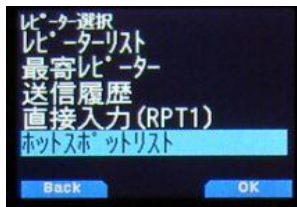


- ③ PTT を押して交信可能です。

【注】 CQ を出す際には、相手局に対してゲートウェイCQであり、T0 に自局をコールサイン指定するようにアナウンスして下さい。

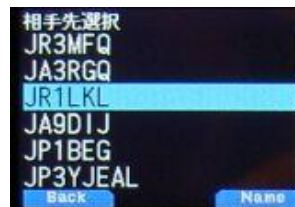
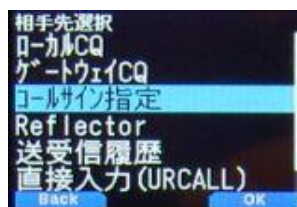
5. レピータにコールサイン指定で接続する

- ① FROM にホットスポットリストから「ノラ」を選択します。【注】 D74 はレピーターリスト



- ② T0 にコールサイン指定メニュー又は、直接入力 (URCALL) メニューから相手局のコールサインを入力します。

(例) JR1LKL JK3ZNB F JL3ZIN E JL3ZIN F 等 【注】 JL3ZIN E は、エコーバックです。



- ③ PTT を押して交信可能です。

【注】 他局からコールサイン指定で呼び出しを受けた場合は、表示部 (グリーン色表示時) に相手局が表示されている間に PTT を押して [ダイレクトリプライ機能](#) で応答可能です。

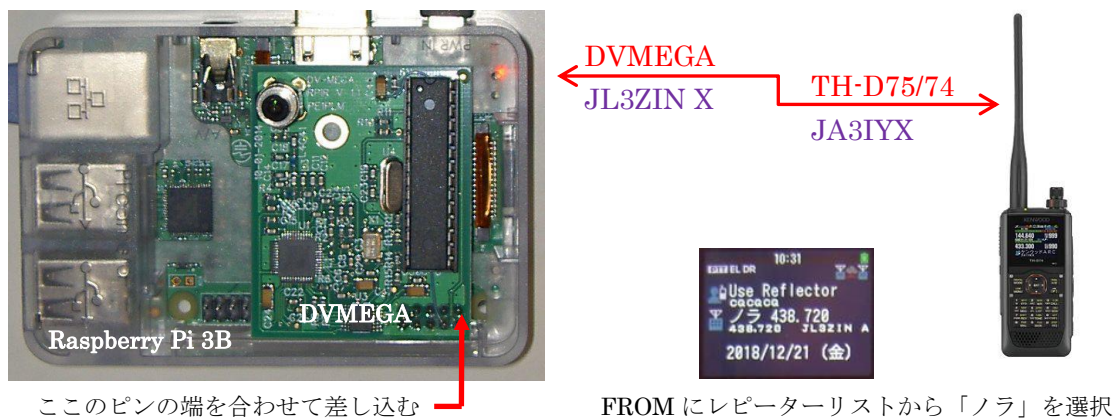
[ENT] ボタン長押し of 受信履歴からコールサインを取り込んで T0 に設定しても応答出来ます。

【番外編】

NoraGateway MMDVM の設定方法

【接続概要図】

ラズパイ 3 B に DVMEGA 又は JumboSpot を差して使用する。



【設定方法】

1. ラズパイ 3B Stretch で GPIO を使用して、DVMEGA と通信する為の設定変更箇所（赤字の部分）
pi@raspberrypi:~ \$ cd /boot

```
pi@raspberrypi:/boot $ sudo nano cmdline.txt
dwc_otg.lpm_enable=0 console=serial0,115200 console=tty1 root=PARTUUID=c2a1
31a0-02 rootfstype=ext4 ele$
console=serial0,115200 を削除する。
```

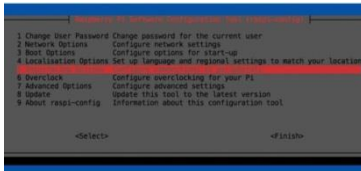
```
pi@raspberrypi:/boot $ sudo nano config.txt
# Enable audio (loads snd_bcm2835)
dtparam=audio=on
enable_uart=1
```

```
# Enable UART on the GPIO pins
dtoverlay=pi3-miniuart-bt
```

を追加する。

次ページに続く

```
$ sudo raspi-config
```



5 Interfacing Options ->

P6 Serial ->

Would you like a login shell to be accessible over serial? <No>

Would you like the serial port hardware to be enabled? <Yes>

The serial login shell is disabled The serial interface is enabled <OK>

とする。

2. xml ファイルの初期値からの変更箇所 (赤字の部分)

① ゲートウェイコールサイン設定

<Gateway

callsign="JL3ZIN G"

useProxyGateway="true" (プロキシ停止時は false で、40000 ポート開放)

proxyGatewayAddress="proxy.xreflector-jp.org"

<Reflector enable="true" type="DExtra">

DPlus 接続機能 (v0.1.2a 以降)

<LoginCallsign> JA3IYX </LoginCallsign>

リフレクターブラックリスト (v0.1.5a 以降)

<CallsignEntry enable="false" dir="OUTGOING">REF001 C</CallsignEntry>

<CallsignEntry enable="false" dir="OUTGOING">REF030 C</CallsignEntry>

<CallsignEntry enable="false" dir="OUTGOING">REF030 D</CallsignEntry>

② レピータコールサイン設定

<Repeat (注) 最初に有るこの設定は、ICOM のリグ用なので true→false にする)

enable="false" type="Internal" callsign="XXXXXX X"

MMDVM 互換デバイス接続機能 (v0.1.1a 以降)

<Repeater enable="true" type="Internal" callsign="JL3ZIN X"

<Modem type="MMDVM">

<ConfigurationProperties>

<PortName>ttyAMA0</PortName>

<RxFrequency>430950000</RxFrequency>

<RxFrequencyOffset>0</RxFrequencyOffset> (DVMEGA 0 JUNBO 500)

<TxFrequency>430950000</TxFrequency>

<TxFrequencyOffset>0</TxFrequencyOffset> (DVMEGA 0 JUNBO 500)

【番外編の番外】

NoraGateway.xml ・ hosts.txt ・ dhcpd.conf ・ sshd_config ・ raspi-config の直接指定用

```
$ sudo nano /opt/NoraGateway/config/NoraGateway.xml
```

```
$ sudo nano /opt/NoraGateway/config/hosts.txt
```

```
$ sudo nano /etc/dhcpd.conf
```

```
$ sudo nano /etc/ssh/sshd_config
```

```
$ sudo raspi-config
```

NoraGateway **.jar の更新用

PC にダウンロードし解凍した最新版を WinSCP で /home/pi/Downloads にコピーする。

```
$ sudo cp /home/pi/Downloads/NoraGateway_0.1.6a-PR12.jar /opt/NoraGateway/NoraGateway_0.1.6a-PR12.jar
```

```
$ sudo rm /opt/NoraGateway/NoraGateway_0.1.6a-PR11.jar (旧バージョンの削除)
```

```
$ sudo shutdown -r now
```

手動での hosts.txt の更新用 最新版を WinSCP で /home/pi/Downloads にコピーする。

```
$ sudo cp /home/pi/Downloads/hosts.txt /opt/NoraGateway/config/hosts.txt
```

Raspberry Pi CPU 温度

```
$ sudo /opt/vc/bin/vcgenclm measure_temp
```

*** Raspberry Pi Desktop のバックアップ用ツール「SD Card Copier」***

Accessories にある SD Card Copier は、オリジナル（使用中の SD）と同じサイズの SD カードにコピーするだけでなく、既存のものが空き容量を使い果たしている場合、より大きな SD カードにコピーすることができます。逆に、小さな SD カードに保存することもできます。

*** 3B で動作しているソフトを、3B+ で動作させる方法 ***

3B で起動し、インターネットに接続した状態で下記コマンドを順に実行する。

```
$ sudo apt-get install rpi-update
```

```
$ sudo rpi-update
```

```
$ sudo reboot
```

この工程を終了した SD カードを、3B+ に差しして起動する。

【謝辞】

NoraGateway は、圏央道友会で開発されたフリーソフトウェアです。

にゃー

この様な素晴らしいソフトを作成し、公開されたことに感謝いたします。

本書を作成するにあたり、下記ページを参考にさせていただきました。

<https://kdk.ddns.net/kdk/index.php/10-noragateway/9-noragateway>



【その他】

「D-STAR の仕様における Nora シリーズシステム割り当て許可一覧」

仕様書最新版 → http://www.jarl.com/d-star/STD6_0a.pdf

アマチュア無線のデジタル化技術の標準方式 略称 D-STAR

(Digital Smart Technologies for Amateur Radio)

平成 31 年 1 月 6.0a 版公開

発行 一般社団法人 日本アマチュア無線連盟

The Japan Amateur Radio League, Inc

「注」以下の(割り当て許可済み)は、6.0a 版公開以後の許可ですので、現在公開されている平成 31 年 1 月 6.0a 版には記載されていません。

仕様書 58P

8. 4 ポート番号

転送用ポート番号の使用状況は次の通りです。

50001 DPRS

50002 dstatus

50003 multu_forward

50004 - 50099 予約

50100 - 50999 ユーザー定義

50100 - nora_ext_connect (割り当て許可済み)

51000 multi_forward で使用

51001 - 未使用

ユーザー独自に開発したプログラムで使用する場合は、JARL に届け出を行い、割り当てを受けるものとする。

仕様書 64P

Ap6 割り当て済みの問い合わせ ID

0x0000 - 0x00FF 予約済

0x0100 DV_AP

0x0101 - NoraGateway (割り当て許可済み)

0x0102 - NoraDStarProxyGateway (割り当て許可済み)

0x0103 - 未割当

【更新履歴】

NoraGateway	2020/07/09	ver. 0.1.6a-PR12	ダッシュボード改善対応等
ExternalConnector	2020/02/01	ver. 0.1.8a	複数ルーム併設対応等
TH-D74	2020/08/28	ver. 1.11	APRS 新機能対応等
TH-D75	2024/03/21	ver. 2.30	全体構成の変更等